

# 孫子算経(剰余系)の 電子回路設計への応用

阿部優大 片山翔吾 李 从兵 小林春夫

群馬大学 理工学部 電子情報理工学科

Kobayashi Lab.  
Gunma University

## アウトライン

3/36

- 研究目的・目標
- 中国の剰余定理
- 波形のサンプリング
- ヒルベルト・フィルタ
- 提案する周波数推定回路
- まとめ

## アウトライン

2/36

- 研究目的・目標
- 中国の剰余定理
- 波形のサンプリング
- ヒルベルト・フィルタ
- 提案する周波数推定回路
- まとめ

## 研究目的・目標

4/36

研究目標: 高周波信号の簡易な周波数推定回路の実現

取扱い難

複数低周波サンプリング回路

高い周波数でサンプリング  
スペクトルの折り返し: 発生しない  
高周波サンプリング回路実現: 難



剰余系を利用

複数の低周波数サンプリング回路  
↓  
スペクトルの折り返しから周波数推定

- 研究目的・目標
- 中国の剰余定理
- 波形のサンプリング
- ヒルベルト・フィルタ
- 提案する周波数推定回路
- まとめ

## 孫子算経

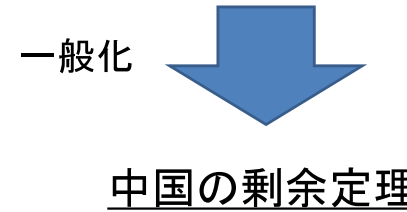
- 「3で割ると2余り、5で割ると3余り、7で割ると2余る数はいくらか」 答え 23  
 → 一般化したのが「中国人の剰余定理」。



- 鶏兔同籠(けいとどうりゆう)  
 「キジとウサギが同じ籠(かご)。頭が35個、足は94本。キジ、ウサギはそれぞれいくらか。  
 → 日本に入ってきて「鶴亀算」となる

- 中国の算術書『孫子算経』

「3で割ると2余り、5で割ると3余り、7で割ると2余る数はいくらか」

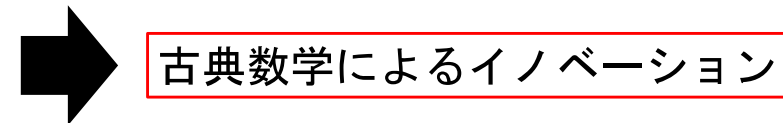


孫子算経

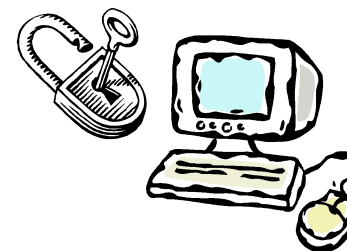
答え 23

## 中国の剰余定理の集積回路への応用

- ✓ 江戸時代、「百五減算」として伝来
- ✓ 現在、情報セキュリティの暗号化に応用



### 集積回路に応用



関孝和

基数 2, 3, 5 互いに素

$$N=2 \times 3 \times 5 = 30$$

0からN-1(=29) までの整数の一つを k

a: k を2 で割った余り  $a = \text{mod}2(k)$

b: k を3 で割った余り  $b = \text{mod}3(k)$

c: k を5 で割った余り  $c = \text{mod}5(k)$

k と (a, b, c) の組は1対1に対応する。

k を (a, b, c) で表現  $\rightarrow$  剰余表現

中国人の剰余定理 (Chinese Remainder Theorem)  
(a, b, c) から k を求めるアルゴリズム



基数 2, 3, 5 互いに素

$$N=2 \times 3 \times 5 = 30$$

0からN-1(=29) までの整数の一つを k

a: k を2 で割った余り  $a = \text{mod}2(k)$

b: k を3 で割った余り  $b = \text{mod}3(k)$

c: k を5 で割った余り  $c = \text{mod}5(k)$

k と (a, b, c) の組は1対1に対応する。

k を (a, b, c) で表現  $\rightarrow$  剰余表現

a	b	c	k
0	0	0	0
1	1	1	1
0	2	2	2
1	0	3	3
0	1	4	4
1	2	0	5
0	0	1	6
1	1	2	7
0	2	3	8
1	0	4	9
0	1	0	10
1	2	1	11
0	0	2	12
1	1	3	13
0	2	4	14

a	b	c	k
1	0	0	15
0	1	1	16
1	2	2	17
0	0	3	18
1	1	4	19
0	2	0	20
1	0	1	21
0	1	2	22
1	2	3	23
0	0	4	24
1	1	0	25
0	2	1	26
1	0	2	27
0	1	3	28
1	2	4	29

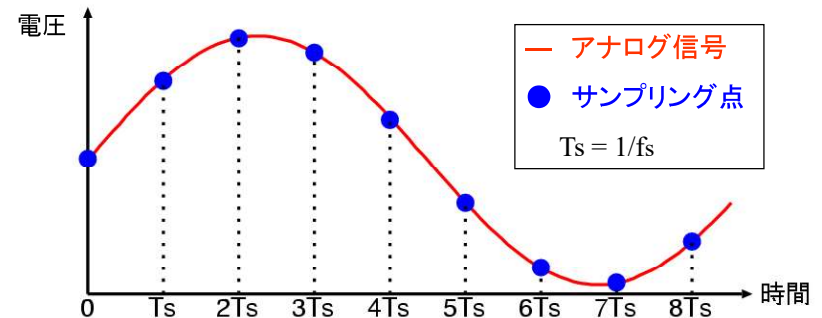
剰余定理 (Chinese Remainder Theorem)  
(a, b, c) から k を求めるアルゴリズム

剰余定理は、  
この問題を他の整数についても適用できるように一般化したもの。

## アウトライン

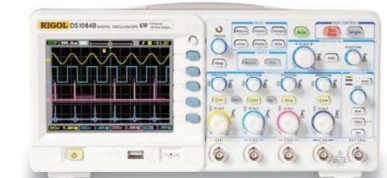
- 研究目的・目標
- 中国の剰余定理
- **波形のサンプリング**
- ヒルベルト・フィルタ
- 提案する周波数推定回路
- まとめ

## 波形のサンプリング

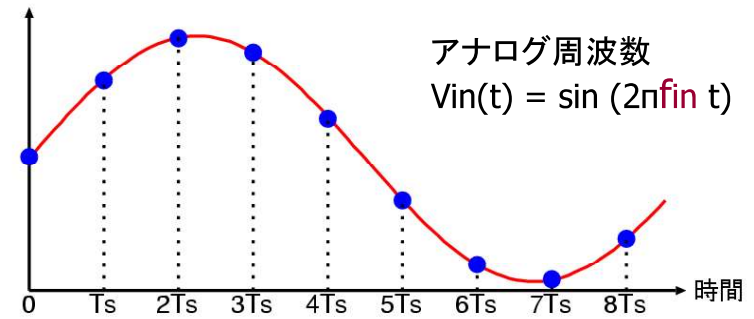
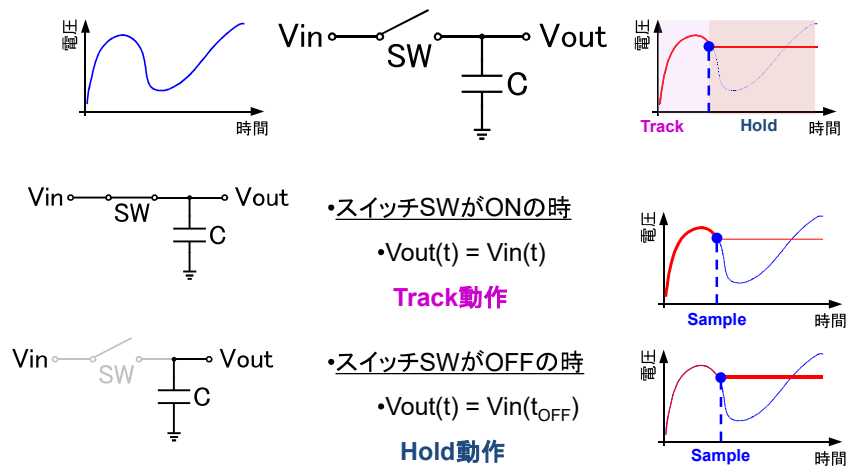


一定時間間隔のデータを取り、間のデータは捨ててしまう。

デジタルオシロスコープ等での  
波形の電子計測に  
波形サンプリング技術は用いられる



## 基本構成: スイッチと容量



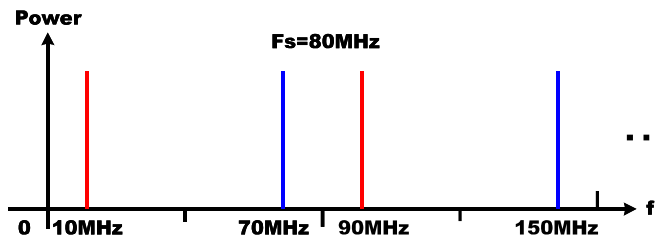
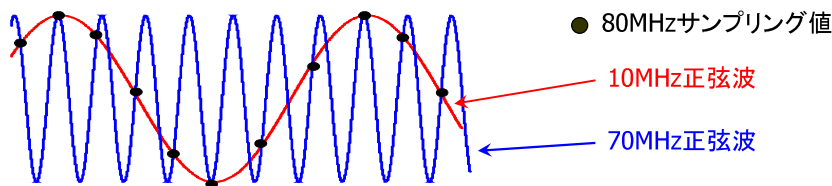
サンプリング周波数  $f_s = 1/T_s$

$f_s > 2 f_{in}$  ならば サンプリングされたデータ(●)からアナログデータ(—)が復元できる。

信号に含まれる最大周波数  $f_{in}$  の2倍より大きな周波数  $f_s$  でサンプリングする。

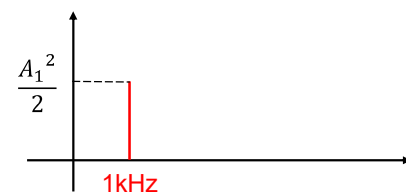
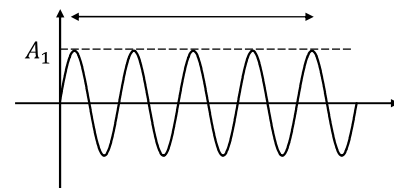
# サンプリングと折り返し(aliasing)

80MHzでサンプリングを行うと10MHzと70MHzは区別できない

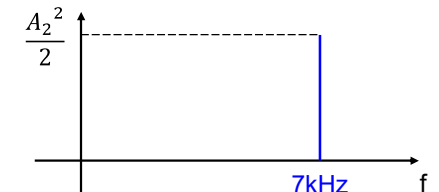
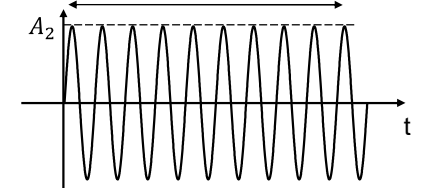


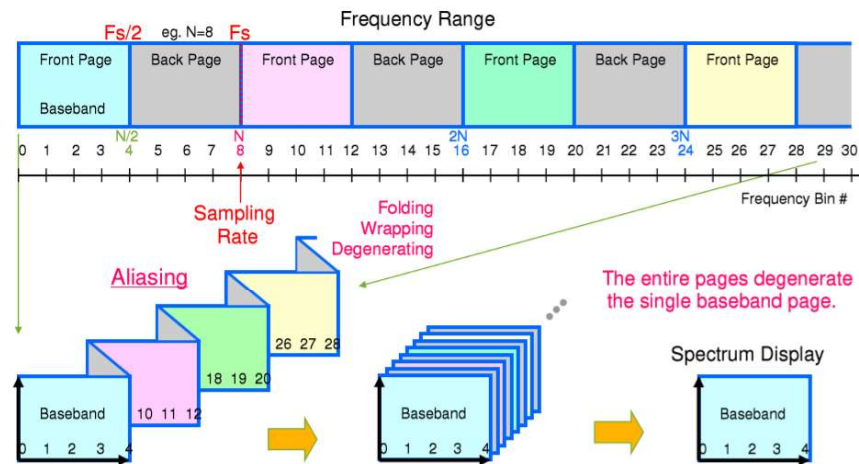
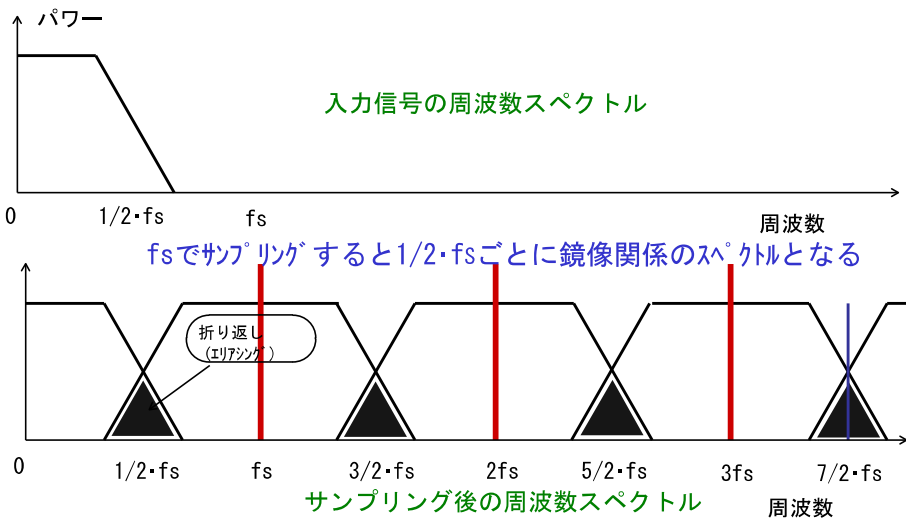
# 周波数領域でのスペクトル

1kHz正弦波は  
1秒間に山が1000個



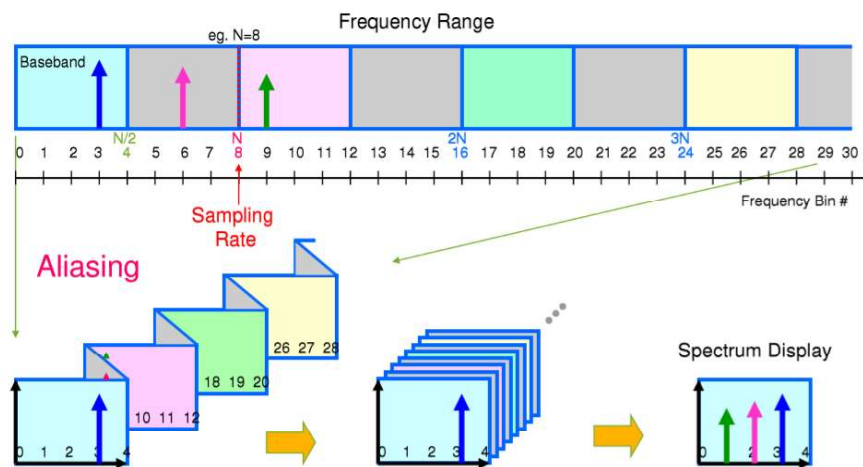
7kHz正弦波は  
1秒間に山が7000個





大河原秀雄氏 作成図

## 波形サンプリングによるスペクトル折り返し

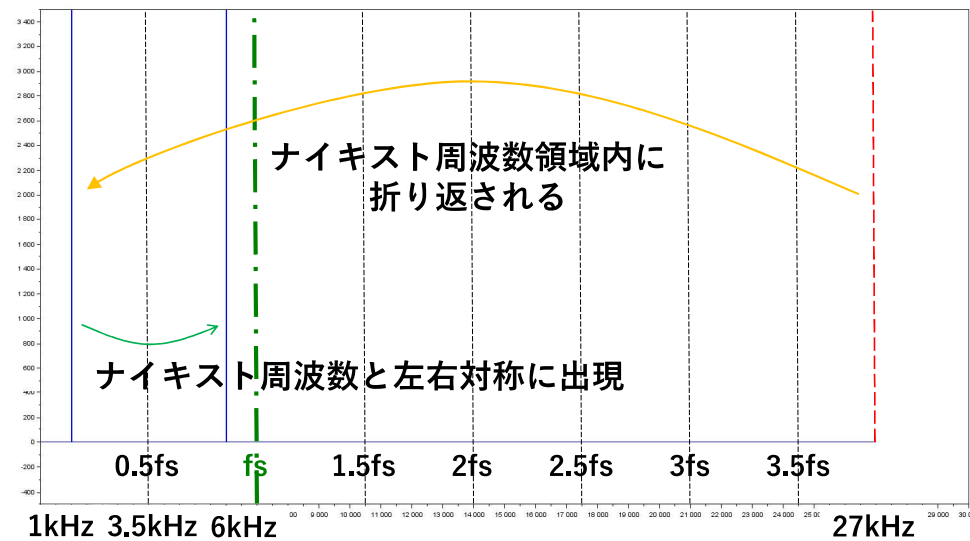


大河原秀雄氏 作成図

## サンプリング定理を満たさないときのスペクトル

サンプリング周波数  $f_s = 7\text{kHz}$

入力周波数  $f_{in} = 27\text{kHz}$



ナイキスト周波数：サンプリング周波数の1/2の周波数

- 研究目的・目標
- 中国の剰余定理
- 波形のサンプリング
- ヒルベルト・フィルタ**
- 提案する周波数推定回路
- まとめ

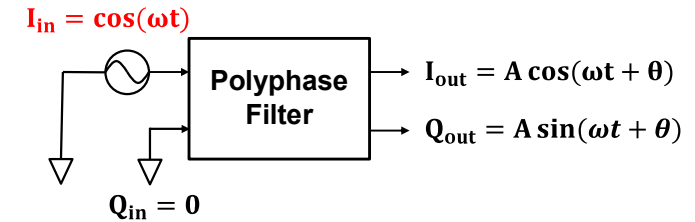
- 研究目的・目標
- 中国の剰余定理
- 波形のサンプリング
- ヒルベルト・フィルタ
- 提案する周波数推定回路**
- まとめ

RC ポリフェーズフィルタ



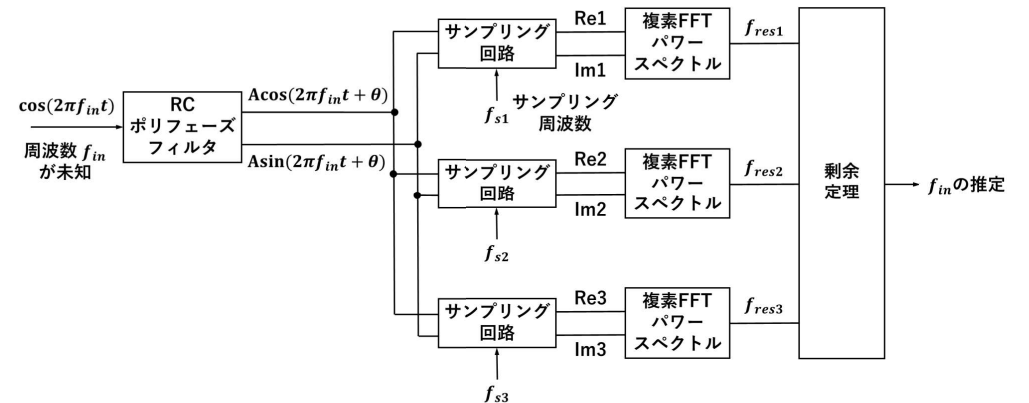
アナログ・ヒルベルト・フィルタ

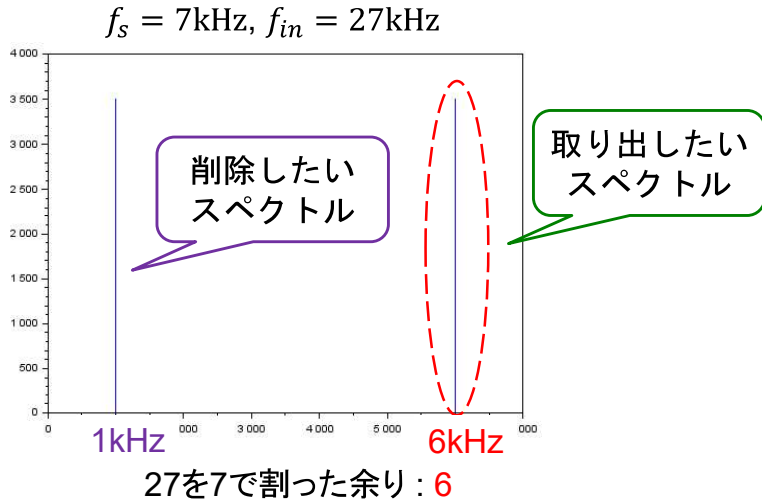
David Hilbert  
独 数学者  
1862-1943



単一cos波入力信号から  
位相が90°異なったcos波, sin波を生成

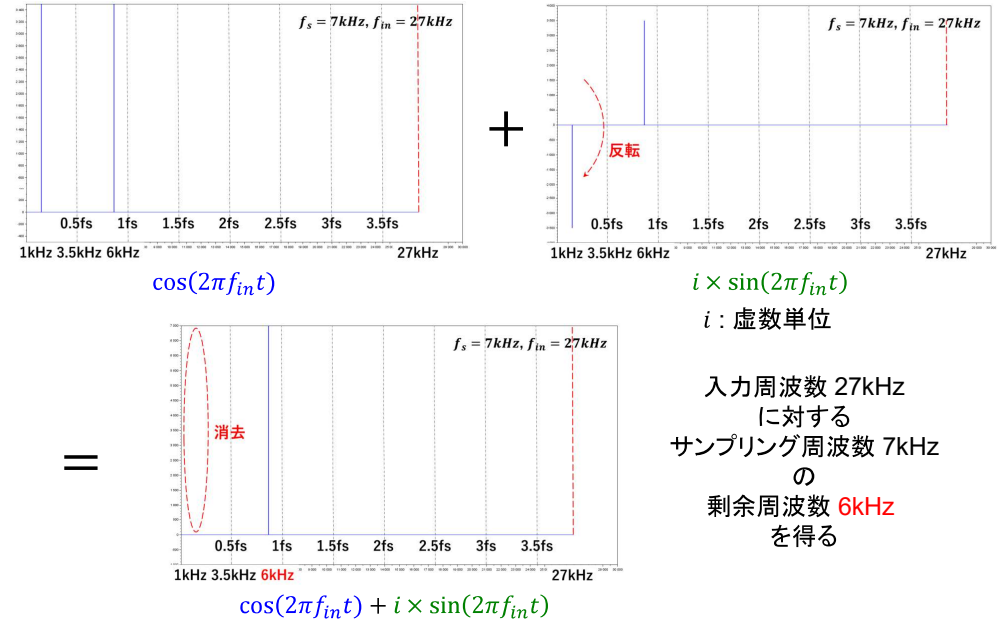
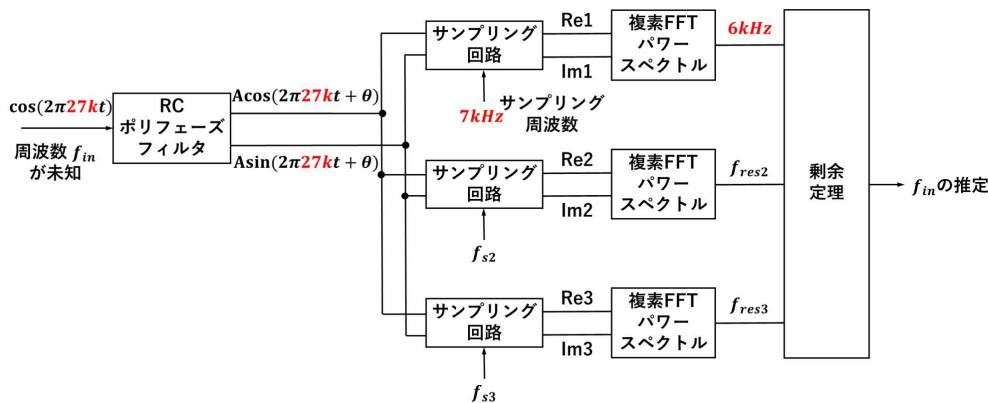
## 提案する周波数推定回路のブロック図





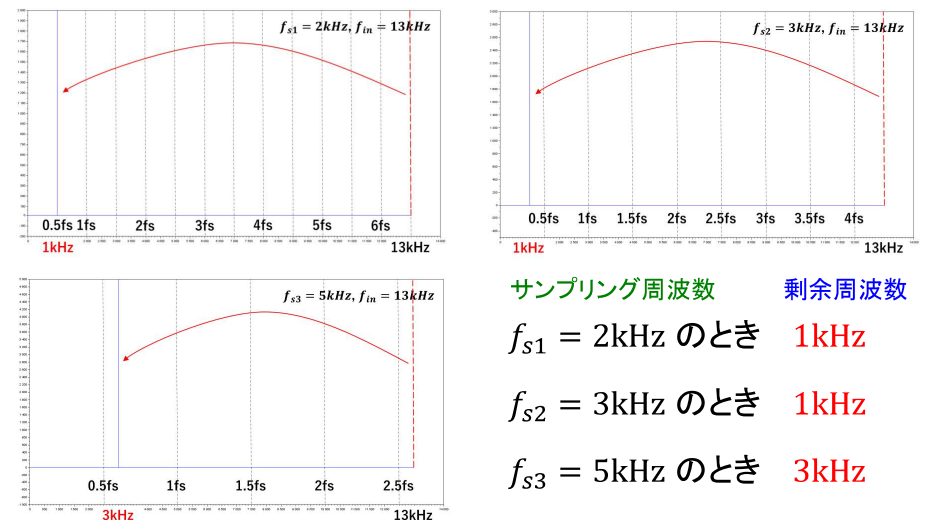
ヒルベルト・フィルタによって生成した  
cos波, sin波を用いて削除する

## 剰余周波数の一つを決定



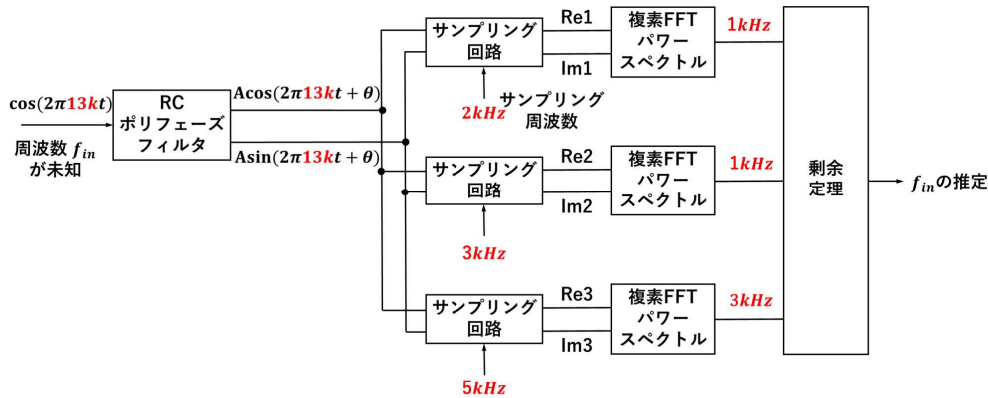
## 様々なサンプリング周波数による剰余周波数

入力周波数  $f_{in} = 13\text{kHz}$ , 互いに素のサンプリング周波数



でスペクトルが発生

# 剰余周波数の決定



# 高周波入力周波数の推定

$f_{in} = 13\text{kHz}$  のとき  
 $m_1 = 1\text{kHz}$   
 $m_2 = 1\text{kHz}$   
 $m_3 = 3\text{kHz}$

$f_{in} = 13\text{kHz}$   
 と推定できる

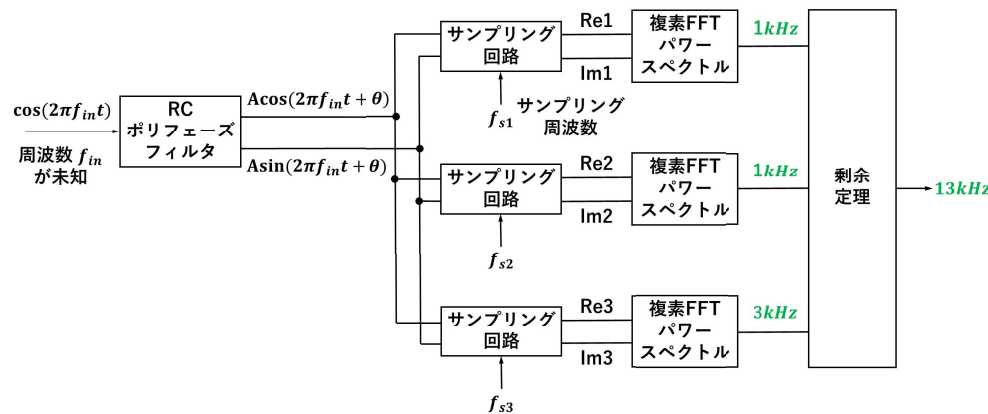
$f_{s1}$	$f_{s2}$	$f_{s3}$	$f_{in}$
a	b	c	k
0	0	0	0
1	1	1	1
0	2	2	2
1	0	3	3
0	1	4	4
1	2	0	5
0	0	1	6
1	1	2	7
0	2	3	8
1	0	4	9
0	1	0	10
1	2	1	11
0	0	2	12
1	1	3	13
0	2	4	14

$f_{s1}$	$f_{s2}$	$f_{s3}$	$f_{in}$
a	b	c	k
1	0	0	15
0	1	1	16
1	2	2	17
0	0	3	18
1	1	4	19
0	2	0	20
1	0	1	21
0	1	2	22
1	2	3	23
0	0	4	24
1	1	0	25
0	2	1	26
1	0	2	27
0	1	3	28
1	2	4	29

入力周波数  $f_{in} = 0, 1\text{kHz}, \dots \sim 29\text{kHz}$  を全て提案原理で周波数推定できることを確認した

# 剰余周波数から入力周波数の推定



# 提案手法の周波数測定範囲

サンプリング周波数により決定

$f_{s1} = 1009, f_{s2} = 1013, f_{s3} = 1019$  (互いに素) の場合  
 $1009 \times 1013 \times 1019 = 1,041,537,223$   
 $\therefore 0 - 1,041,537,222\text{Hz}$  まで測定可能 (1Hz刻み)



約1kHzの複数サンプリング周波数から  
 1GHzの周波数が推定可



a	b	c	k
0	0	0	0
1	1	1	1
0	2	2	2
1	0	3	3
0	1	4	4
1	2	0	5
0	0	1	6
1	1	2	7
0	2	3	8
1	0	4	9
0	1	0	10
1	2	1	11
0	0	2	12
1	1	3	13
0	2	4	14

a	b	c	k
1	0	0	15
0	1	1	16
1	2	2	17
0	0	3	18
1	1	4	19
0	2	0	20
1	0	1	21
0	1	2	22
1	2	3	23
0	0	4	24
1	1	0	25
0	2	1	26
1	0	2	27
0	1	3	28
1	2	4	29

m1, m2, m3 に測定誤差が生じた場合  
推定周波数 k は全く異なる値となる

## まとめ

- 剰余定理を用いることで  
複数の低い周波数のサンプリングから  
高周波信号の周波数を推定する方式を考案し  
理論・シミュレーションにて確認

↓  
回路実現が容易

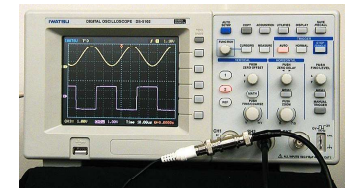
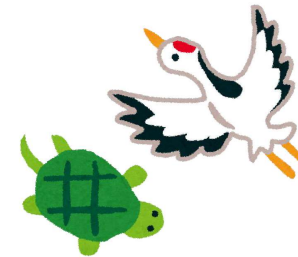
- 入力周波数の推定範囲は、  
複数のサンプリング周波数の積
- 制限
  - ① 推定可能な入力周波数は離散値のみ
  - ② 剰余周波数に誤差があると測定誤差大

- 研究目的・目標
- 中国の剰余定理
- 波形のサンプリング
- ヒルベルト・フィルタ
- 提案する周波数推定回路
- まとめ

## 最後に

## 温故知新

古典数学は先端電子計測技術に  
貢献できる



- 高周波信号の周波数を複数の低周波数サンプリング結果から推定・測定する  
先行研究あり。例えば 下記。

Xiaowei Li, Hong Liang, and Xiang-Gen Xia,

“A Robust Chinese Remainder Theorem With Its Applications in Frequency Estimation  
From Undersampled Waveforms”,

IEEE Trans. Signal Processing, vol. 57, no.11 (Nov. 2009).

- ここでの発表の新規性は、内部にアナログ・ヒルベルトフィルタ (RC ポリフェーズフィルタ)  
を併用したこと。RCポリフェーズフィルタのヒルベルトフィルタとの関係性は下記。

Yoshiro Tamura, Ryo Sekiyama, Koji Asami, Haruo Kobayashi,

"RC Polyphase Filter As Complex Analog Hilbert Filter",

IEEE 13th International Conference on Solid-State and Integrated Circuit Technology, Hangzhou (Oct. 2016).

<http://kobaweb.ei.st.gunma-u.ac.jp/news/pdf/2016/ICSICTpresentation1021.pdf>

<http://ieeexplore.ieee.org/document/7999091/>

<http://kobaweb.ei.st.gunma-u.ac.jp/lecture/WE2B-1.pdf>

- Q1. 除数の1つを10倍することで少数でも表せるのでは？
- Q2. 他の周波数推定回路と比べてどのような点が利点となるか？
- Q3. どのくらいの頻度で誤差が生じるか？
- Q4. どのようなアプリケーションに応用できるか？